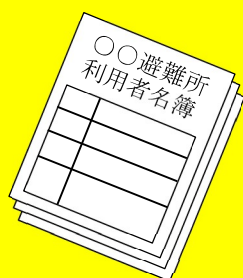


刈谷市避難生活支援マニュアル



様式集

いつでも使うことができるよう
様式を印刷しておき、
筆記用具やファイル類とともに
避難所に備えておきましょう

刈谷市 生活安全部 危機管理課

はじめに

○本書は、刈谷市避難生活支援マニュアルとともに、避難所を運営するための標準的な様式としてまとめたものです。

各避難所で使う際には、地域や避難所となる施設の実情に合わせて内容を見直し、適宜追加・修正する必要があります。

○本書は、刈谷市避難生活支援マニュアル(本編)、資料集、リーフレット集、避難所運営委員会及び各運営班の業務とセットでお使いください。

様式集 目次

1 避難所の安全点検

避難所連絡表	1
建物の安全確認チェックシート	3
鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表	12

2 避難所のルール、運営組織

避難所でのルール	14
避難所の運営体制	17
避難所運営委員会規約（案）	18
避難所利用者でつくる組分け表	20

3 受付、総合窓口

避難所受付記入用紙	21
避難所登録票	22
記載例	24
ペット登録台帳（個票）	25
ペット登録台帳	26
動物情報	27
ペットの飼養について	28
退所届	29
取材・調査受付票	30
避難所内で取材・調査をされる方へ	31
落とし物リスト	32
支援受け入れ一覧表	33
受付メモ	34
個別引き継ぎ事項	35

4 名簿

避難所登録者名簿（手書き用）	36
避難所登録者名簿 公開用	37
避難所登録者名簿（詳細版：エクセル管理用）	38

5市災害対策本部との連絡

(1)定期的な連絡

避難所状況報告書（初動期）	39
避難所状況報告書（第 報）	40

(2)食料・物資

ニーズ調査票	41
物資受入簿	42
物資ごとの受入・配給等管理簿	43
物資の給与状況（まとめ表）	44
食料管理表	45
食品の原材料表示カード	46

(3)施設管理

避難所の火災予防のための自主検査表	47
-------------------------	----

(4)その他

派遣職員依頼書	48
ボランティア受付表	49
ボランティアの皆様へ（ボランティア活動時の注意事項）	50
翻訳依頼書	51
通訳支援依頼書	52

6避難所の設備、備品、備蓄物資など

避難所備蓄物資一覧表	53
------------------	----

7健康管理

受付時健康状態チェックリスト	57
健康状態チェックシート	58

8要配慮者支援

アセスメントシート	59
記載例	60

複写・平常時の持出禁止

年度 避難所連絡表

施設名_____

避難所施設関係

避難所として使える 場所の床面積	
特記事項	

災害対策本部連絡先（避難所班）

電話番号	
防災行政無線番号	

避難所配置職員

	氏 名	所 属	住 所	自宅電話番号 携帯電話番号	応急危険度判定士 取得年度
代 表					
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

※○印は応急危険度判定士講習会受講済み

避難所担当者連絡先

担当者氏名	
電話番号	
特記事項	

年度 避難所連絡表

施設名_____

民間応急危険度判定士

氏 名	電話番号	他の担当避難所

避難所設備等

設備等	有無	場所
防災備蓄倉庫		
防災行政無線		
簡易ベッド等		
マンホールトイレ		
マンホールトイレ倉庫		
受水槽緊急取水栓		
特設公衆電話M J		
太陽光発電システム		
LP ガスタンク		

建物の安全確認チェックシート(RC・SRC 造)

※以下、『大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針』
(内閣府)より抜粋

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造(RC・SRC造) 〈低層・ラーメン構造^(注1)〉

☐ 外部調査

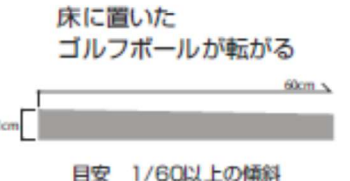
【災害時調査シート】		《第____回目チェック》 作成日時：平成____年____月____日 ____時____分	
第1次		外部から一見して危険かどうかの調査	
(1) 外部から一見して危険と判断される			
	調査項目	被害例	はい : ○ いいえ : × ○の場合の対応 応急対応等
構造体の傾き	1 避難建物全体、又は一部が崩壊している。 もしくは、1層、又は2層以上の階層がつぶれている。		危険なため 建物の使用不可
	2 避難建物の基礎が、崩壊している。 又は、上部構造と基礎がずれている。		危険なため 建物の使用不可
	3 避難建物全体、又は一部が傾斜しているのがわかる。		危険なため 建物の使用不可
その他	4 隣接崖地や地盤等が崩れ、 避難建物を破壊している。		危険なため 建物の使用不可
	5 隣接建築物が崩れ落ち、 避難建物を破壊している。		危険なため 建物の使用不可
	6 隣接建築物から器物(窓枠や外壁、看板、屋外機器等)が落下して避難建物を破壊(崩壊)している。		危険なため 建物の使用不可
備考欄			
※「危険なため使用不可」と判断された項目がない場合(全て「いいえ : ×」)は、 第2次 余震による危険性の調査へ移行する。		施設名称： 記入者：(所属) _____ 氏名： _____ 連絡先： _____	

(注1) ラーメン構造とは、柱と梁が一体化した構造のこと。

建物の安全確認チェックシート(RC・SRC 造)

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造(RC・SRC造) 〈低層・ラーメン構造〉

☐ 外部調査
☐ 内部調査

【災害時調査シート】		《第__回目チェック》 作成日時：平成__年__月__日 __時__分	
第2次		余震による危険性の調査	
(2) 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体			
	調査項目	被害例	はい : ○ いいえ : × ○の場合の対処 応急対応等
隣接建築物・ 周辺地盤の 破壊による 危険	① 隣接建築物や太い電柱等が 避難建物の方へ傾いて倒 れそうである。		危険なため 建物の使用不可
	② 避難建物の方へ崩れそう な崖地や山林がある。		危険なため 建物の使用不可
	③ 周辺地盤が大きく陥没、又は 隆起している。 (約20cm以上の段差がある)		危険なため 建物の使用不可
構造 躯体	④ 避難建物全体、又は一部が 傾いている。 ※ 建物1階から順番に各階を 数カ所ずつ調査する。	床に置いた ゴルフボールが転がる 	危険なため 建物の使用不可
備考欄			
※「危険なため使用不可」と判断された項目が ない場合(全て「いいえ:×」)は、第2次 (3)各 階の柱・梁のひび割れ及び損傷調査へ移行す る。1つでも○がある場合は建物の使用不可。		施設名称： 記入者：(所属) _____ 氏名：_____ 連絡先：_____	

建物の安全確認チェックシート(RC・SRC 造)

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造(RC・SRC造) 〈低層・ラーメン構造〉

☐ 外部調査
☐ 内部調査

【災害時調査シート】		《第____回目チェック》作成日時：平成____年____月____日 ____時____分	
第2次		余震による危険性の調査	
(3) 各階の柱・梁のひび割れ及び損傷調査			
各階の柱・梁の損傷	調査項目 ⑤ 鉄筋が曲がり内部コンクリートも崩れ落ちている構造柱・構造梁が1本以上ある。 又は、窓や出入り口付近でサッシが曲がり床が沈下している箇所が1箇所以上ある。	被害例 	はい : ○ いいえ : × ○の場合の対処 応急対応等 危険なため 建物の使用不可
	調査項目 ⑥ 大きなひび割れ（裂け目が2mm以上又は、深いひび割れ等）が多数あり表面のコンクリートもはがれ落ちているが、鉄筋は曲がっておらず、内部コンクリートも落ちていない構造柱・構造梁が、全体の10%以上ある。 損傷箇所本数 ⑧ _____本 全体柱本数 ⑨ _____本 損傷率 ⑧/⑨×100 _____% 損傷率が10%以上ある	被害例  2mm以上の深いひび割れ 鉄筋は曲がっておらず、内部コンクリートも落ちていない構造柱	はい : ○ いいえ : × ○の場合の対処 応急対応等 危険なため 建物の使用不可
備考欄			

※「危険なため使用不可」と判断された項目がない場合（全て「いいえ：×」）は、第2次（4）落下物の調査へ移行する。 1つでも○がある場合は建物の使用不可。	施設名称： 記入者：（所属）_____ 氏名：_____ 連絡先：_____
---	--

建物の安全確認チェックシート(RC・SRC 造)

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造(RC・SRC造) 〈低層・ラーメン構造〉

☐ 外部調査
☐ 内部調査

【災害時調査シート】		《第 ____ 回目チェック》 作成日時：平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 ____ 時 ____ 分		
第2次		余震による危険性の調査		
(4) 落下物の調査				
	調査項目	被害例	はい : ○ いいえ : ×	○の場合の対応 応急対応等
窓	① 窓枠・窓ガラスに歪みやひび割れがあり、落下の危険性がある。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
内・外装材	② 〔湿式壁 (注3) の場合〕 モルタルやタイル等にひび割れや剥離等がみられ、落下の危険性がある。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
	③ 〔乾式壁 (注4) の場合〕 外壁や内・外装板材等に隙間や顕著なずれや板の破壊がみられ、落下の危険性がある。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
機器	④ 看板・機器 (タンクやクーラー用の屋外機器など) が傾斜している。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
外階段	⑤ 屋外階段が傾斜、破損している。			屋外階段周辺を避けて、建物の使用可能
天井	⑥ 天井面に歪みや隙間、破損等が見られる。 又は、壁際と天井の隙間(余裕)や接合部が、平常時と比べて移動・破損している。 ※ホール吹抜け等、高い天井から先に調査し、各室の天井を調査する。	 		○がある部屋は、危険なため使用不可
備考欄				

※ 全て「はい : ×」の場合は、建物の使用を開始。
「はい : ○」がある場合は、その場所を避けて建物の使用可能。

施設名称：

記入者：(所属) _____ 氏名： _____

連絡先： _____

(注3) 湿式壁とは、モルタルやタイル貼り等の壁。

(注4) 乾式壁とは、釘やビス止めなどで施工できる建材を使用した壁。

建物の安全確認チェックシート(S 造)

※以下、『大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針』
(内閣府)より抜粋

鉄骨造 (S造)

☐ 外部調査

【災害時調査シート】		《第__回目チェック》作成日時：平成__年__月__日 __時__分	
第1次		外部から一見して危険かどうかの調査	
(1) 外部から一見して危険と判断される			
	調査項目	被害例	はい : ○ いいえ : ×
構造体の傾き	1 避難建物全体、又は一部が崩壊している。 もしくは、1層、又は2層以上の階層がつぶれている。		危険なため 建物の使用不可
	2 避難建物の基礎が崩壊している。 又は、上部構造と基礎がずれている。		危険なため 建物の使用不可
	3 避難建物全体、又は一部が傾斜しているのがわかる。		危険なため 建物の使用不可
その他	4 隣接崖地や地盤等が崩れ、避難建物を破壊している。		危険なため 建物の使用不可
	5 隣接建築物が崩れ落ち、避難建物を破壊している。		危険なため 建物の使用不可
	6 隣接建築物から器物(窓枠や外壁、看板、屋外機器等)が落下して避難建物を破壊(崩壊)している。		危険なため 建物の使用不可
備考欄			

※「危険なため使用不可」と判断された項目がない場合(全て「いいえ:×」)は、
第2次 余震による危険性の調査へ移行する。

施設名称：

記入者：(所属) _____ 氏名： _____

連絡先： _____

建物の安全確認チェックシート(S 造)

鉄骨造 (S造)

☐ 外部調査
☐ 内部調査

【災害時調査シート】 《第____回目チェック》 作成日時：平成____年____月____日 ____時____分

第2次

余震による危険性の調査

(3) 落下物の点検				
	調査項目	被害例	はい : ○ いいえ : ×	○の場合の対応 応急対応等
屋根	① 屋根材がずれている。 又は、破損して落下の危険性がある。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
窓	② 窓枠・窓ガラスに歪みやひび割れがあり、落下の危険性がある。	 		落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
内・外装材	③ 〔湿式壁 (注1) の場合〕 モルタルやタイル等にひび割れや剥離等がみられ、落下の危険性がある。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
	④ 〔乾式壁 (注2) の場合〕 外壁や内・外装板材等に隙間や顕著なずれや板の破壊がみられ、落下の危険性がある。	 		落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
機器	⑤ 看板・機器 (タンクやクーラー用の屋外機器など) が傾斜している。	 		落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
外階段	⑥ 屋外階段が傾斜、破損している。			屋外階段周辺を避けて、建物の使用可能
天井	⑦ 天井面に歪みや隙間、破損等が見られる。 又は、壁際と天井の隙間 (余裕) や接合部が、平常時と比べて移動・破損している。 ※ ホール吹抜け等の高い天井から先に調査し、各室の天井を調査する。	 		○がある部屋は、危険なため使用不可
備考欄				

※ 全て「はい : ×」の場合は、建物の使用を開始。
「はい : ○」がある場合は、その場所を避けて建物の使用可能。

施設名称：

記入者：(所属) _____ 氏名：_____

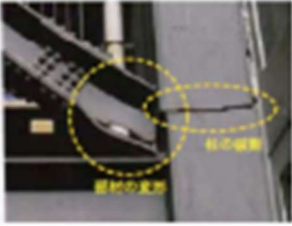
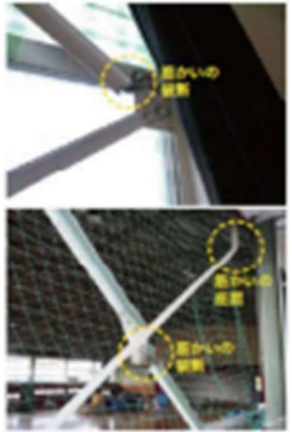
連絡先：_____

(注1) 湿式壁とは、モルタルやタイル貼り等の壁。

(注2) 乾式壁とは、釘やビス止めなどで施工できる建材を使用した壁。

建物の安全確認チェックシート(S 造)

鉄骨造 (S造) 〈構造躯体が調査可能な場合、以下の調査項目を確認〉

【災害時調査シート】		《第____回目チェック》作成日時：平成____年____月____日 ____時____分	
構造躯体用		余震による危険性の調査	
(4) 被害最大階の構造躯体調査			
被害最大階 (____階)	調査項目	被害例	はい : ○ いいえ : ×
	① 柱や柱を固定する構造上重要な部材が変形、又は破断している。 		危険なため 建物の使用不可
	② 柱と柱の間の筋かい※が被害最大階全体の20%以上切れている。 破断本数 ③ _____本 全体筋かい本数 ④ _____本 破断率 ③×④×100 _____% ※柱と柱の間に斜めに入れて建築物や足場の構造を補強する部材。 		危険なため 建物の使用不可
	③ 柱と梁の接合部やボルト、部材等が破壊されている。 		危険なため 建物の使用不可
	④ 柱の根元が著しく破壊※されている。 ※柱の固定の力が期待できない程度に著しく破壊されている。 		危険なため 建物の使用不可
※「危険なため使用不可」と判断された項目がない場合(全て「いいえ：×」)は、建物の使用可能。 1つでも○がある場合は建物の使用不可。		施設名称：_____ 記入者：(所属) _____ 氏名：_____ 連絡先：_____	

(注3) 筋かいとは、柱と柱の間に斜めに入れて建築物や足場の構造を補強する部材。

<注意>

チェックシートは建物の構造や階層によって異なります。
避難所となる施設の構造等に合わせたシートを、
内閣府の Web ページから予めダウンロードしご利用ください。

内閣府「大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針」の Web ページ

https://www.bousai.go.jp/jishin/kitakukonnan/kinkyuutenken_shishin/index.html

応急危険度判定調査票(RC造)

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表

集計欄は数字で記入

RC

 整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 調査回数 _____ 回目
 調査者氏名(都道府県/No) _____ (_____/_____)

建築物概要

- 1 建築物名称 _____ 1.1 建築物番号 _____
- 2 建築物所在地 _____ 2.1 住宅地図整理番号 _____
- 3 建築物用途 1.戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所
 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場
 12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他(_____) _____
- 4 構造種別 1.鉄筋コンクリート造 2.プレキャストコンクリート造 3.ブロック造
 4.鉄骨鉄筋コンクリート造 5.混合構造(_____)と(_____) _____
- 5 階数 地上 _____ 階 地下 _____ 階
- 6 建築物規模 1階寸法 約 _____ m× _____ m

建築物番号 _____

住宅地図整理番号 _____

 3 _____
 4 _____
 地上 _____ 階
 地下 _____ 階
 ア _____ m
 イ _____ m

調査 調査方法:(1.外観調査のみ実施 2.内観調査も併せて実施)

1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他(_____) _____

調査方法 _____

1 _____

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
判定(1) ①損傷度Ⅲ以上の損傷部材の有無	1.無し	2.あり	
判定 ②隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険 ③地盤破壊による建築物全体の沈下 ④不同沈下による建築物全体の傾斜 柱の被害〔下記⑤⑥の調査階(被害最大の階) _____ 階〕(壁構造の場合は柱を壁の長さに読みかえる) ⑤損傷度Ⅴの柱本数/調査柱本数 損傷度Ⅴの柱総数 _____ 本 調査柱 _____ 本 (調査率 _____ %) ⑥損傷度Ⅳの柱本数/調査柱本数 損傷度Ⅳの柱総数 _____ 本 調査柱 _____ 本 (調査率 _____ %) 判定(2)	1.危険無し	2.不明確	3.危険あり
	1.0.2m以下	2.0.2m~1.0m	3.1.0m超
	1.1/60以下	2.1/60~1/30	3.1/30超
	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが1の場合	3.危険 Cランクが1以上又はBランクが2以上
	1.調査済み (要内観調査)	2.要注意	3.危険
危険度の判定 判定(1)と判定(2)のうち大きな方の危険度で判定する			

判定(1) _____

① _____

② _____

③ _____

④ _____

⑤ _____

⑥ _____

柱の被害最大の階 _____

⑤ _____

⑥ _____

判定(2) _____

判定 _____

判定 _____

判定 _____

判定 _____

判定 _____

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り
②外装材(モルタル・タイル・石貼り等)	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剥離
③外装材(ALC板・PC板・金属・ブロック等)	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破壊
④看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り
⑤屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜
⑥その他(_____) _____	1.安全	2.要注意	3.危険
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合

① _____

② _____

③ _____

④ _____

⑤ _____

⑥ _____

判定 _____

判定 _____

判定 _____

総合判定(調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

総合判定 _____

コメント(構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

応急危険度判定調査票(S 造)

鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表

集計欄は数字で記入

S

整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 調査回数 _____ 回目
 調査者氏名 (都道府県/No) _____ (_____ / _____)
 _____ (_____ / _____)

整理番号

建築物番号

住宅地図整理番号

建築物概要

- 1 建築物名称 _____ 1.1 建築物番号 _____
 2 建築物所在地 _____ 2.1 住宅地図整理番号 _____
 3 建築物用途 1.戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所
 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場
 12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他 (_____)
 4 構造形式 1.ラーメン構造 2.ブレース構造 3.プレファブ 4.その他 (_____)
 5 階数 地上 _____ 階 地下 _____ 階
 6 建築物規模 1階寸法 約 _____ m × _____ m

3 _____
 4 _____
 地上 _____ 階
 地下 _____ 階
 A _____ m
 Y _____ m

調査 調査方法：(1.外観調査のみ実施 2.内観調査も併せて実施)

- 1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他 (_____)

調査方法

1 _____

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	A ランク	B ランク	C ランク
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1.危険無し	2.不明確	3.危険あり
②不同沈下による建築物全体の傾斜	1.1/300以下	2.1/300~1/100	3.1/100超
③建築物全体又は一部の傾斜			
傾斜を生じた階の上の階数が1階以下の場合	1.1/100以下	2.1/100~1/30	3.1/30超
傾斜を生じた階の上の階数が2階以上の場合	1.1/200以下	2.1/200~1/50	3.1/50超
④部材の座屈の有無	1.無し	2.局部座屈あり	3.全体座屈あるいは著しい局部座屈
⑤筋違の破断率	1.20%以下	2.20%~50%	3.50%超
⑥柱梁接合部及び継手の破壊	1.無し	2.一部破断あるいは亀裂	3.20%以上の破断
⑦柱脚の破損	1.無し	2.部分的	3.著しい
⑧腐食の有無	1.ほとんど無し	2.各所に著しい錆	3.孔所が各所に見られる
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合 (要内観調査)	2.要注意 Bランクが3以内の場合	3.危険 Cランクが1以上又はBランクが 4以上

① _____

② _____

③ _____

被害最大の階

_____ 階

④ _____

⑤ _____

⑥ _____

⑦ _____

⑧ _____

判定

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	A ランク	B ランク	C ランク
①屋根材	1.ほとんど無被害	2.著しいずれ	3.全面的にずれ、破損
②窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り
③外装材 湿式の場合	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剥離
④外装材 乾式の場合	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破壊
⑤看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り
⑥屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜
⑦その他 (_____)	1.安全	2.要注意	3.危険
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合

① _____

② _____

③ _____

④ _____

⑤ _____

⑥ _____

⑦ _____

判定

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済 (緑) 2. 要注意 (黄) 3. 危険 (赤)

総合判定

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

ひ な ん じ ょ

避難所でのルール

 ひなんじょめい
 避難所名: _____

避難所を利用される方は、以下のルールを守るよう心がけるとともに、当番に参加するなど、避難所運営にご協力ください。


 きほんじこう
 基本事項

- ・ **この避難所は、地域の防災拠点です。**

避難所以外の場所に滞在する被災者も含めた生活支援を行います。

- ・ **避難所は、避難所を利用する人全員が協力して運営します。**

年齢や性別に関係なく、避難所を利用する人々が、できる限り役割を分担し、より多くの人が避難所の運営に参画できるようにします。

- ・ **避難所を利用する人の増減に合わせ部屋の移動を行います。**

利用者数の増減などにより、部屋の移動をお願いすることがあります。

- ・ **立ち入りを制限した部屋には入らないでください。**

危険なものがある部屋など、立ち入りを制限する部屋があります。

- ・ **この避難所は、電気・水道などライフラインが復旧した後、すみやかに閉鎖します。**

自宅に戻ることができない人は、応急仮設住宅などの長期受入れ施設で対処します。


 ぼう 火
 防 火

- ・ **出入口や階段、通路などに、避難の妨げとなる物を置かないでください。**

避難所内外の整理整頓を行い、燃えやすいものを放置しないでください。

- ・ **ストーブなどの暖房器具は、転倒防止をし、燃えやすいものから離れた場所で使い、換気にも注意してください。**


 たばこ・酒
 禁煙

- ・ **敷地内は禁煙です。また、飲酒も控えてください。**

たばこは屋外の決められたで吸い、吸殻は水が入ったバケツに入れるなど、完全に消火してください。



避難所の運営に必要なことを話し合うため、
避難所運営委員会を組織します。

- 避難所運営委員会は、避難所を利用する人の代表者などで組織します。

定例会議：毎日午前 時 分と午後 時 分に開催

- 具体的な業務は、避難所を利用する人などで編成する各運営班が行います。



総合受付

総合受付では、各種手続きや相談受付を行います。

対応時間：午前 時 分から午後 時 分まで



登録

避難所を利用する人の情報を家族(世帯)ごとに登録します。

個人情報、公開してもよいとした人の分のみ公開します。

- 生活支援を適切に行うことができるよう、在宅避難者・車中泊避難者等を含め、避難所を利用する人の情報を登録します。
- 障害のある方、難病・アレルギー・その他慢性疾患をお持ちの方、妊娠中の方や乳幼児をお連れの方、宗教上の理由や言語などで特に配慮が必要な方は、登録の際にお申し出ください。
- 犬や猫などのペットの情報も登録します。
- 避難所を退所するときは、総合受付にお申し出ください。



点灯

点灯は : 、消灯は : です。

安全のため、廊下、トイレ、施設管理に使用する部屋は夜間も点灯します。



放送

放送は : で終了します。

ただし、緊急時には夜間に放送を行うこともあります。



電話

避難所あてに電話があった場合は放送により呼び出し、
伝言を行います。(: ~ :)

携帯電話はマナーモードにしてください。

携帯電話での通話は公共の場のみとし、生活場所ではご遠慮ください。



しよくりよう ぶっし
食料・物資

しよくりよう ぶっし げんそく くみ はいきゅう
食料や物資は、原則、組ごとに配給します。

- ・ はいきゅう ざいたくひなんしゃ しゃちゅうはくひなんしゃとう ひと おこな
配給は、在宅避難者・車中泊避難者等にも等しく行います。
- ・ とくべつ じじょう ばあい ひなんじょうえいいんかい りかい きょうりよく え
特別な事情がある場合は、避難所運営委員会の理解と協力を得ます。

しよくりよう くば
食料を配る
じかん げんそく
時間(原則)

あさ 朝 : ころ 頃

ひる 昼 : ころ 頃

よる 夜 : ころ 頃

しよくりよう ぶっし
食料・物資
はいきゅうばしょ
の配給場所

ぶっし 物資: 粉ミルク・おむつ

ばしょ 場所: _____

ぶっし 物資: 女性用衣類・生理用

ばしょ 場所: _____

ぶっし 物資: _____

ばしょ 場所: _____



トイレ

りようしゃぜんいん せいけつ しょう ところ
利用者全員が、清潔に使用することを心がけてください。
せいそう ひなんじょ りよう ひと こうたい おこな
トイレの清掃は避難所を利用する人が交代で行います。



ごみ

ぶんべつ してい ばしょ だ
分別して、指定された場所へ出してください。



ペット

ほか ひなんじょりようしゃ りかい きょうりよく か ぬし
ペットは、他の避難所利用者の理解と協力のもと、飼い主が
せきにん しいうく
責任をもって飼育してください。

- ・ ペットは決められた場所(き ばしょ)で飼育(しいく)し、他の部屋等建物内(ほか え やとうたてものない)には入れないでください。

ひなんじょう うんえいたいせい

避難所の運営体制

ねん 年 がつ 月 にちげんざい 日現在

ひなんじょうつんえいいんかい
避難所運営委員会ひなんじょう うんえい ひつよう はな あ き
避難所の運営に必要なことを話し合っ
て決める。かい ちょう
会長ふくかいちょう
副会長かくうんえいはん はんちょう
各運営班の班長そうむはんはんちょう
総務班班長れんらく こうほうはんはんちょう
連絡・広報班班長しょくりょう ぶつしはんはんちょう
食料・物資班班長ほけん えいせいはんはんちょう
保健・衛生班班長ようはいしやしょうけんはんはんちょう
要配慮者支援班班長しせつかんりはんはんちょう
施設管理班班長おくがいしえんはんはんちょう
屋外支援班班長がいぶしえんうけいれはんはんちょう
外部支援受入班班長しちちゅうはくひなんしやとうすぺーすうんえい
車中泊避難者等スペース運営(駐車場管理)班班長ひなんじょうりようしや だいいりやうしや ちよう
避難所利用者でつくる組の代表者(組長)

くみめい 組名	くみちよう 組長
組名	組長
組名	組長
組名	組長
組名	組長
組名	組長
組名	組長
組名	組長
組名	組長
組名	組長

しせつかんりしや
施設管理者ししやくいん
市職員

避難所利用者でつくる組

- ・部屋・地区単位、10世帯程度で組織する。
- ・避難所に入所している人だけでなく、避難所以外の場所に滞在している人の組もつくり、代表者を決める。
- ・代表者(組長)の数が多い場合は、部屋・階、地区ごとの互選で委員会に出席する。

かくうんえいはん
各運営班

避難所での具体的な業務を行う。

そうむはん
総務班はんちよう
班長めいぼかり
名簿係れんらく こうほうはん
連絡・広報班はんちよう
班長しょくりょう ぶつしはん
食料・物資班はんちよう
班長ほけん えいせいはん
保健・衛生班はんちよう
班長ようはいりよしやしえんはん
要配慮者支援班はんちよう
班長しせつかんりはん
施設管理班はんちよう
班長おくがいしえんはん
屋外支援班はんちよう
班長がいぶしえんうけいれはん
外部支援受入班はんちよう
班長しちちゅうはくひなんしやとう うんえい
車中泊避難者等スペース運営ちゅうしやじようかんり はん
(駐車場管理) 班はんちよう
班長

避難所運営委員会 規約（案）

（目的）

第1 自主的で円滑な避難所の運営が行われることを目的として、避難所運営委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（構成員）

第2 委員会の構成員は、次のとおりとする。

- 一 避難所利用者で編成する「(避難所利用者)組」の代表者
- 二 避難所で具体的な業務を運営する班（運営班）の代表者
- 三 行政担当者
- 四 施設管理者
- 五 その他委員会で承認された者

2 前項の規定にかかわらず、(避難所利用者)組の代表者数が多い場合には、互選により委員会への出席者を選ぶことができる。

3 委員会で承認されたときは、継続的に活動するボランティア団体のリーダーなどが委員会に出席し意見を述べるができる。

（廃止）

第3 委員会は、電気、水道などライフラインの復旧時を目処とする避難所閉鎖の日に、廃止する。

（任務）

第4 委員会は、避難所の運営に必要な事項を協議する。

2 委員会は、毎日、午前.....時と午後.....時に定例会議を行うこととする。

3 委員会は、具体的な業務を執行するために、避難者で編成する総務班、連絡・広報班、食料・物資班、保健・衛生班、要配慮者支援班、施設管理班、屋外支援班、外部支援受入班、車中泊スペース運営（駐車場管理）班など必要な班を設置する。

4 各運営班の班長は、第2条1項に基づき、委員会に出席する。

（役員）

第5 委員会に、委員の互選による会長1名、副会長.....名を置く。

2 会長は委員会の業務を総括し、副会長は会長を補佐する。

3 避難所利用者の半数を占める女性の要望などを的確に把握するため、会長、副会長のいずれかは女性から選出するよう努める。

（総務班の業務）

第6 総務班は、総合受付での各種手続きや問い合わせ対応、避難所内の配置計画や避難所状況報告書の作成、避難所運営委員会の事務局、市災害対策本部への連絡など、避難所運営全般に関することを行う。

2 総務班は、避難所開設時の利用者の避難所登録等のため「名簿係」を編成する。

3 名簿係は、避難所利用者の名簿管理、利用者数の把握、安否確認などへの対応を行う。

4 名簿は、避難所に入所した者だけでなく、車中やテントで生活する者、在宅避難者・車中泊避難者等を含め、避難所を利用する者について、同じ避難所に登録する世帯ごとに作成する。

（連絡・広報班の業務）

第7 連絡・広報班は、避難所内外の情報収集・伝達・発信や取材対応などを行う。

2 情報の伝達・発信の際には、避難所利用者の事情に合わせて複数の手段を組み合わせるなどし、避難所利用者全員に伝わるよう努める。

（食料・物資班の業務）

第8 食料・物資班は、食料・物資の調達・受け入れ・管理・配布や炊き出しに関することを行う。

2 食料・物資班は、避難所に入所した者だけでなく、在宅避難者・車中泊避難者等を含

め、避難所を利用する者についても等しく食料・物資を配布する。

- 3 食料・物資は、公平性の確保に最大限配慮し、(避難所利用者) 組ごとに配布する。ただし、高齢者、障害者、難病・アレルギー疾患・その他の慢性疾患患者、妊産婦・乳幼児、女性、こども、外国人、性的マイノリティなど災害時にとくに配慮を要する人には、必要に応じて優先順位をつけ、個別に配布を行う。

- 4 食料・物資班は、不要な物資が届いた時は、受け入れを拒否する。

(保健・衛生班の業務)

- 第9 保健・衛生班は、避難所内のトイレ・ごみ・水(生活用水)の管理などの衛生管理や、医療救護・健康管理、ペットに関することを行う。

(要配慮者支援班の業務)

- 第10 要配慮者支援班は、高齢者、障害者(障害児)、難病・アレルギー疾患・その他の慢性疾患患者、妊産婦・乳幼児、女性、こども、外国人、性的マイノリティなど、災害時にとくに配慮を要する人の支援や対策を行う。

- 2 要配慮者支援班は、要配慮者の支援について、他の運営班に助言を行う。

(施設管理班の業務)

- 第11 施設管理班は、施設・設備の点検・故障対応、防火・防犯対策を行う。

(屋外支援班の業務)

- 第12 屋外支援班は、在宅避難者・車中泊避難者等について、情報収集・伝達、食料・物資の配給、健康管理などを行う。

(外部支援受入班の業務)

- 第13 外部支援受入班は、ボランティアやNPOなど専門家、医療、福祉、介護の職能団体などの人的支援の受け入れや管理を行う。

(車中泊避難スペース運営(駐車場管理)班の業務)

- 第14 車中泊避難スペース運営(駐車場管理)班は、車中泊避難者について、情報収集・伝達、食料・物資の配給、健康管理などを行う。

(その他)

- 第15 この規約にないことは、そのつど、委員会で協議して決める。

付 則

この規約は、 年 月 日から施行する。

避難所利用者でつくる組分け表

地区・ 町内会名	受け入れ/ 滞在場所	組名	組長名	世帯数	人数	備考

避難所受付記入用紙

避難所名

番号	世帯主名	住 所	人数（世帯主含む）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

ひ な ん じ ょ と う ろ く ひ よ う

避難所登録票

おもてめん ひ な ん し ゃ き に ゆ う よ う
表面：避難者記入用

ひ な ん じ ょ め い 避難所名	受付番号

き に ゆ う び 記入日	ね ん 月 日 ()	き に ゆ う し ゃ し め い 記入者氏名		
じ ゅ う し ょ 住 所	〒 —	ち く め い 地区名		
で ん わ 電 話	() —	じ た く 自宅の ひ が い じ ょ う き ょ う 被害状況	ぜん か い はん か い い ち ぶ そ ん か い 全壊 / 半壊 / 一部損壊 ぜん し ょ う はん し ょ う ゆ か う え し ん す い 全焼 / 半焼 / 床上浸水 り ゅ う し ゆ つ ほ か 流出/その他 ()	
け い た い で ん わ 携帯電話	() —			
F A X	() —			
メー ル	@			
そ の 他 れ ん ら く さ き 連絡先 し ん せ き (親戚など)	〒 — () —	たい ざ い ば し ょ 滞 在 場 所	☐ ①避難所 () ☐ ②テント (避難所敷地内設営) ☐ ③車両 (避難所敷地内駐 車) ☐ ④避難所以外の場所 (自宅 / 他 ())	
ひ な ん じ ょ り ょ う ひ と 避難所を利用する人 (・ 在宅避難者 ・ 車 中 泊 避難者 等 も 記 入 す る 。)		け が や び ょ う き し ょ う が い けがや病気・障害・アレルギー に ん し ん ち ゅ う し ょ う 一、妊娠中、使用できる げ ん ご こ く せ き と く は い り ょ 言語、国籍など、特に配慮が ひ つ よ う 必要なこと	う ん え い き ょ う り ゅ く 運営に協力 できること (特技・免許)	か な ら か く に ん 必ず確認！ あ ん び か く に ん 安否確認 たい お う への対応※
し め い 氏 名	せい ね ん が つ び ね ん れ い 生年月日・年齢	せい べ つ 性別		
ふりがな	ね ん 年 が つ 月 (日 歳)			こ う かい 公 開 ・ ひ こ う かい 非公開
ふりがな	年 日 月 歳 (歳)			公 開 ・ 非公開
ふりがな	年 日 月 歳 (歳)			公 開 ・ 非公開
ふりがな	年 日 月 歳 (歳)			公 開 ・ 非公開
ふりがな	年 日 月 歳 (歳)			公 開 ・ 非公開
ペットの じ ょ う き ょ う 状 況	☐ 飼っていない ☐ 飼っている→右欄へ	し ゅ る い と う す う 種類(頭数)	☐ 同伴希望(ペット台帳に記入) ☐ 行方不明 ☐ 在宅 ☐ その他安全な場所	
じ か よ う し ゃ ひ な ん じ ょ 自家用車(避難所 ち ゅ う し ゃ ば あ い に 駐 車 する 場合)	し ゃ し ゅ 車 種	い ろ 色	ナ ン バ ー	

- ・ 同 じ 避 難 所 に 登 録 す る 世 帯 (家 族) ご と に 記 入 し て、総 合 受 付 に 提 出 し て く だ さ い。
- ・ ご 記 入 い た だ い た 情 報 は、食 料 や 物 資 の 配 給 や 健 康 管 理 な ど の 支 援 を 行 う た め、避 難 所 運 営 の た め に 必 要 最 低 限 の 範 囲 で 共 有 し ま す。ま た 市 災 害 対 策 本 部 に も 提 供 し、被 災 者 支 援 の た め に「被 災 者 台 帳」に も 利 用 し ま す。

※ 安 否 の 問 い 合 わ せ が あ っ た 場 合 に、住 所 (〇〇 町 〇〇 丁 目 ま で) と 氏 名、ふ り が な を 公 開 し て も よ い か 個 人 ご と に 必 ず 確 認 し て く だ さ い。

ひなんじょうとうろくひょう
避難所登録票

裏面：運営側（受付担当）記入用

＜登録時＞

- 運営側（受付担当）は、記入者とともに表面の記載を確認する。
- ・安否確認への対応（公開・非公開）個人ごとに○がついているか。
- ・けがや病気、障害、アレルギー、妊娠の有無、宗教、使用できる言語（または日本語が理解できるか）など、とくに配慮が必要なことはあるか。→詳細を聞き取ったら下の「本人からの申告・聞き取り事項」の欄に記入する。

[illegible]

- ・ 表面の滞在場所で避難所以外を選択した人には、具体的な場所を確認する。
- ・ 外国人には国籍、在留資格、日本語能力を確認する。

< 転出・退出後 >

「退所届」受付後に記入し、「退所届」と合わせてファイルに綴じること。

退所届	受付日	年 月 日 ()
	受付番号	

ひ な ん じ ょ と う ろ く ひ ょ う

避難所登録票

おもてめん ひ な ん し ゃ き に ゆ う よ う
表面：避難者記入用ひ な ん じ ょ め
避難所名

記載例

き に ゆ う び 記入日	ねん 年 がつ 月 にち 日 ()	き に ゆ う し ゃ き め い 記入者氏名	刈谷 花子	
じゅう しょ 住 所	〒 ー 刈谷市〇〇町〇丁目2ー3	ちくめい 地区名	〇〇	
でん わ 電 話	(〇〇〇〇) 〇〇 ー 〇〇〇〇	じたく 自宅の ひがいじょうきよう 被害状況	ぜんかい はんかい いちぶそんかい 全壊 / 半壊 / 一部損壊 ぜんしょう はんしょう ゆかうえしんすい 全焼 / 半焼 / 床上浸水 りゅうしゅつ ほかに 流出/その他()	
けいたいでんわ 携帯電話	(〇〇〇) 〇〇〇〇 ー 〇〇〇〇	たいざいばしょ 滞り場所	☒ ①避難所 () ☐ ②テント (避難所敷地内設置) ☐ ③車両 (避難所敷地内駐車) ☐ ④避難所以外の場所 (自宅 / 他())	
F A X	(〇〇〇〇) 〇〇 ー 〇〇〇〇			
メール	〇〇〇〇 @ 〇〇. 〇〇. 〇〇〇			
その他 連絡先 (親戚など)	〒 〇〇〇 ー 〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇ー〇 刈谷一郎 (長男) (〇〇〇) 〇〇〇〇 ー 〇〇〇〇			
避難所を利用する人 (・在宅避難者・車中泊避難者等も記入する。)		けがや病気・障害・アレルギー 一、妊娠中、使用できる 言語、国籍など、特に配慮が 必要なこと		
しめい 氏名	せいねんがつび ねんれい 生年月日・年齢	せいべつ 性別	うんえい きょうりょく 運営に協力 できること (特技・免許)	かならず かくにん 必ず確認！ 安否確認 への対応※
ふりがな かりや たろう	〇〇〇〇年 〇月 〇日 (66 歳)	男	フォークリ フトの運転 (免許あり)	公 開 ・ 非公開
刈谷 太郎				
ふりがな かりや はなこ	〇〇〇〇年 〇月 〇日 (60 歳)	女	介護福祉士 英語も少し 話せる	公 開 ・ 非公開
刈谷 花子				
ふりがな かりや ながいき	〇〇〇〇年 〇月 〇日 (91 歳)	男	自力で歩けず、トイレや食事で 介助が必要(やわらかい食事)	公 開 ・ 非公開
刈谷 長生				
ふりがな	年 月 日 (歳)			公 開 ・ 非公開
ペットの じょうきよう 状況	☐ 飼っていない ☒ 飼っている→右欄へ	しゅるい とうすう 種類(頭数) 犬(1)、ネコ(1)	☒ 同伴希望(ペット台帳に記入) ☐ 行方不明 ☐ 在宅 ☐ その他安全な場所	
じかようしゃ ひなんじょ 自家用車(避難所 に駐車する場合)	しゃしゆ 車種 〇〇〇〇	いろ 色 シルバー	ナンバー 〇〇300 さ〇〇ー〇〇	

- ・同じ避難所に登録する世帯(家族)ごとに記入して、総合受付に提出してください。
- ・ご記入いただいた情報は、食料や物資の配給や健康管理などの支援を行うため、避難所運営のために必要最低限の範囲で共有します。また市災害対策本部にも提供し、被災者支援のために「被災者台帳」にも利用します。

※安否の問い合わせがあった場合に、住所(〇〇町〇〇丁目まで)と氏名、ふりがなを公開
してもよいか個人ごとに必ず確認してください。

と う ろ く だ い ち ょ う こ ひ ゃ う ペット登録台帳(個票)		う け け げ ば ん ご う 受付番号	
な ま え ペットの名前		せい べつ 性別	おす ・ めす
どうぶつしゅ 動物種	いぬ 犬 ・ ねこ 猫 ・ ほか その他 ()		
しゅるいなど 種類等	(例) ミニチュアシュナウザー		
せいねんがっぴ 生年月日 (年齢のみでも可)	ねん 年 がつ 月 にちう 日 生まれ (とし 歳)		
とくちよう 特徴 (けいろ 毛色 など)			
きよせい 去勢 ・ ひにんしゅじゅつ 避妊手術 じっしじょうきよう 実施状況	すみ 済 ・ みさい 未済		
かぬしじょうほう 飼い主情報	し 氏 めい 名 :		
	じゅう 住 しょ 所 :		
	でんわばんごう 電話番号 :		
しょうばしょ 飼養場所	おくがいちゅうりんじょう 屋外駐輪場等 ・ じかようしゃ 自家用車 ・ ひなんじょいがい 避難所以外 (じたくなど 自宅等) ほか その他 ()		
ほか その他 (せいかく ペットの性格 など)			

ペット登録台帳

刈谷市避難生活支援マニュアル 様式集

							避難所名			
受付番号	ペットの なまえ	どうぶつ 動物の しゅるい 種類	ひんしゅ 品種	せいべつ 性別	とくちょう 特徴 (けいろ たいかく まいご 毛色・体格、迷子 ふだ うむ 札の有無など)	かぬし 飼い主の れんらくさき 連絡先		受付担当の 記入欄		
						氏名 しめい	電話	入所日	退所日	
記入例	グレイ	犬	ミニチュ アシュナ ウザー	オス	灰色、中型、迷 子札あり	氏名 しめい	愛知 太郎	/	/	
						電話	(000)000 0-0000			
						氏名		/	/	
						電話				
						氏名		/	/	
						電話				
						氏名		/	/	
						電話				
						氏名		/	/	
						電話				
						氏名		/	/	
						電話				
						氏名		/	/	
						電話				

動物情報 No.

ペットの名前

動物種

種類等

飼い主避難場所

.....

.....

----- 切り取ってご使用ください -----

動物情報 No.

ペットの名前

動物種

種類等

飼い主避難場所

.....

.....

ペットの飼い主の皆様へ

ペットの飼養について

避難所では、多くの人達が共同で生活を送っており、動物が苦手な方や動物アレルギーをお持ちの方もいます。

避難所でペットを飼育するためには、次のことを守ってください。

- ・ ペットは、他の避難所利用者の理解と協力のもと、飼い主が責任を持って飼養することを原則とします。
- ・ ペットを飼っていない人へも十分配慮して飼養してください。
- ・ ペットを室内に入れることはできません。ペットは指定された場所に原則、ケージ等の中に入れて飼養してください。ケージ等がない場合はリードを支柱などに繋ぎ止めて飼養してください。(それ以外は、自家用車の中で飼養してください。)
- ・ 犬、猫などの種類ごとに分けて飼養してください。
- ・ 飼い主が相互に協力してペットを飼養してください。
- ・ ペットの飼養場所は、飼い主の手によって常に清潔にし、必要に応じて消毒を行ってください。
- ・ ペットの食料は原則として飼い主が用意してください。また、給餌の時間を決め、その都度きれいに片付けてください。
- ・ ペットによる苦情、噛みつき事故等の危害防止に努めてください。
- ・ 屋外の指定された場所で必ず排便させ、後始末をしてください。
- ・ ノミなどの発生防止に努め、健康管理に努めてください。
- ・ 運動やブラッシングは、必ず屋外で行い、犬は1日2～3回は散歩をさせ排泄させましょう。
- ・ ペットの関係で、他の避難所利用者との間でトラブルが生じた場合は、飼い主自身で対応し、一人で解決できない問題に対しては、飼い主間で対応してください。

たいしょとどけ

退所届

ひなんじょめい
避難所名

受付番号

きゅうび
記入日

ねん 年 がつ 月 にち 日 ()

きゅうしゃめい
記入者名たいしょび
退所日

ねん 年 がつ 月 にち 日 ()

たいしょひと
退所する人しめい
氏名くみめい
組名たいしょご れんらくさき
退所後の連絡先! 必ず確認※
かなら かくにん
あんび かくにん
安否確認の
たいおう
への対応

ふりがな

〒 ー

こう かい
公 開でんわ
電話 () ーひこう かい
非公開

ふりがな

〒 ー

公 開

電話 () ー

・

非公開

ふりがな

〒 ー

公 開

電話 () ー

・

非公開

ふりがな

〒 ー

公 開

電話 () ー

・

非公開

ふりがな

〒 ー

公 開

電話 () ー

・

非公開

備考

※退所後に安否の問い合わせや郵便物などがあった場合に、退所後の連絡先の

住所 (〇〇町〇〇丁目まで) と氏名、ふりがなを公開してもよいか個人ごとに

必ず確認してください。

取材・調査受付票

受付日時		退所日時	
年 月 日 () 時 分		年 月 日 () 時 分	
代表者	会社名・団体名等		
	氏 名		
	連絡先（住所・電話番号）		
同行者	会社名・団体名等		氏 名
取材・調査の目的	※オンエア、記事掲載などの予定日： 年 月 日 ()		
避難所記載欄	避難所側付添者		
	特記事項		
〈名刺添付場所〉			

避難所内で取材・調査をされる方へ

避難所内では、以下の点にご注意くださるようお願いいたします。

- 1 避難所内では身分を明らかにしてください。
避難所内では、胸や上腕の見えやすい位置に必ず「取材者バッジ」や「腕章」を着用してください。
- 2 避難者のプライバシーの保護にご協力ください。
 - (1) 避難所内では、担当者の指示に従ってください。
 - (2) 原則として見学できる部分は、避難所の共有部分のみです。避難所利用者が生活している場所や、避難所の施設として使用していない場所への立入は禁止します。
 - (3) 避難所内の撮影や避難所利用者へインタビューする場合には、必ず本人及び担当者の許可をとってください。特に避難所利用者の了解なしに、勝手にインタビューを行ったり、カメラを向けたりすることは慎んでください。
- 3 取材に関する問い合わせは避難所運営委員会へお願いします。
 - (1) 取材を行う場合は、総合受付で「取材・調査受付票」に必要事項を記入し提出してください。
 - (2) 本日の取材内容に関する放送日や記事発表の予定に変更が生じた場合には、下記の連絡先までご連絡ください。また、本日の取材に関する点などにつきましても同様に下記連絡先へお問い合わせください。

(連絡先)

避難所名 _____

担当者名 _____

電 話 () - _____

落とし物リスト					避難所名		
番号	受付日時	落とし物			落とし物の受け渡し		備考 (受領のサイン等)
		拾った日	場所	内容	日時	受け取った人	
	/ :	/			/ :	氏名 住所 連絡先() —	
	/ :	/			/ :	氏名 住所 連絡先() —	
	/ :	/			/ :	氏名 住所 連絡先() —	
	/ :	/			/ :	氏名 住所 連絡先() —	
	/ :	/			/ :	氏名 住所 連絡先() —	
	/ :	/			/ :	氏名 住所 連絡先() —	
	/ :	/			/ :	氏名 住所 連絡先() —	
	/ :	/			/ :	氏名 住所 連絡先() —	
	/ :	/			/ :	氏名 住所 連絡先() —	
	/ :	/			/ :	氏名 住所 連絡先() —	

※財布や現金は、すみやかに警察に届ける

支援受け入れ一覧表

受入日時		支援の内容	数量等	支援者	備考
月／日	時間				
/	:			団体名 代表者名 住 所 TEL FAX	
/	:			団体名 代表者名 住 所 TEL FAX	
/	:			団体名 代表者名 住 所 TEL FAX	
/	:			団体名 代表者名 住 所 TEL FAX	
/	:			団体名 代表者名 住 所 TEL FAX	
/	:			団体名 代表者名 住 所 TEL FAX	
/	:			団体名 代表者名 住 所 TEL FAX	
/	:			団体名 代表者名 住 所 TEL FAX	

受付メモ

受付日時	年 月 日 () :	記入者	
相手方			
要 旨 (苦情・相談・要望などの内容を簡潔にまとめる)			
対 応			
備 考			

個別引き継ぎ事項

			避難所名	
番号	日付	引き継ぎの内容	経過・対応状況	備考

避難所登録者名簿(手書き用)

避難所名					
確認への対応	メモ(特に配慮が必要なこと)	国籍 (外国人の場合)	退所日	退所届の番号	
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		
・非公開			/		

代わりにご利用ください。

(公開用)(様式集 p.37)をご利用ください。

登録者名簿(詳細版)(様式集 p.38)を作成

ください。

- ・本書は「避難所登録票(様式集 p.22)」の見出し代わりにご利用ください。
- ・安否確認の問い合わせには「避難所登録者名簿(公開用)(様式集 p.37)」をご利用ください。
- ・パソコンで名簿を管理できる場合は、「避難所登録者名簿(詳細版)(様式集 p.38)」を作成し、市災害対策本部への報告などにご利用ください。

ひ　な　ん　じ　ょ　と　う　ろ　く　し　ゃ　め　い　ぼ

避難所登録者名簿

公開の同意がある人のみ掲載しています。

こ う か い よ う

公開用

ひなんじょめい
避難所名

[illegible]

避難所利用者名簿（詳細版：エクセル管理用）

避難所利用者登録票(様式集p.12-13)から情報を入力してください。

本書は、避難所利用者への配慮事項や被災状況を把握、整理し、個々の事情に即した支援を行う際に活用されます。

本日の日付(年齢欄の自動計算用) 2018/3/27

登録票の 受付番号	氏名	ふりがな	世帯主に○	生年月日	避難所利用者			安否確認 公開/非公開	避難所利用者の住所等						
					年齢	性別	配慮事項		国籍(外国人の場合)	運営協力(特技・免許)	〒	住所	電話	携帯電話	FAX
					118										
					118										
					118										
					118										
					118										
					118										

その他連絡先（親戚など）				家屋の被害状況							ペット						
氏名	〒	住所	電話番号	全壊	半壊	一部損壊	全壊	半壊	床上浸水	その他	飼っていない	飼っている	種類・頭数	同居希望	置き去り	行方不明	ペット台帳No.

自家用車（避難所に駐車する場合）				受け入れ場所					本人申告・聞き取り	退所届		退所後の連絡先		公開/非公開
車種	色	ナンバー	避難所	テント	車面	自宅	その他	組名		受付番号	退所日	住所	電話	

<注意>

本書は、避難所登録者名簿（詳細版：エクセル管理用）のイメージです。
愛知県防災局の Web ページから電子データをダウンロードしてご利用ください。
<http://www.pref.aichi.jp/0000013288.html>

避難所状況報告書(初動期)

送信先：市災害対策本部 避難所班

防災行政無線

FAX

避難所		ふりがな 避難所名 住所 TEL FAX		
項 目	第一報(参集後すぐ)		第二報(3時間後)	第三報(6時間後・閉鎖)
送信者名				
報告日時	月 日() :		月 日() :	月 日() :
避難者	人数	人	人	人
	世帯数	世帯	世帯	世帯
建物の安全確認	未実施・調査済・要注意・危険		未実施・調査済・要注意・危険	未実施・調査済・要注意・危険
傷病者等	なし・あり()人・不明		なし・あり()人・不明	なし・あり()人・不明
人命救助	不要・必要()人・不明		不要・必要()人・不明	不要・必要()人・不明
周辺状況 ライフライン	断水・停電・ガス停止・電話不通		断水・停電・ガス停止・電話不通	断水・停電・ガス停止・電話不通
緊急を要する事項など (具体的に箇条書き)				
受信者名 (災害対策本部)				

- ・報告は防災行政無線により、避難所班本部宛にFAXで送信する。FAXが使用できないときは、伝令などで連絡する。
- ・人命救助や周辺状況の詳細は「緊急を要する事項」に記入する。
- ・「世帯数」は、避難所登録票の枚数による回答も可能。

避難所状況報告書〔第 報〕

送信先：市災害対策本部 避難所班

防災行政無線

FAX

避難所	ふりがな 避難所名		住所		報告日時	月 日 ()	
	TEL		FAX			:	
避難所登録者数	区分		前日までの数(a)	新規登録者数(b)	退所者数(c)	登録者数(a+b-c)	
	避難所内に受け入れた者 (避難所内車中泊避難者含む)	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	
		人	人	人	人	人	
	在宅避難者・車中泊避難者(避難所外)等	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	
		人	人	人	人	人	
	合計	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	
		人	人	人	人	人	
運営状況	組	編成	済・未編成	組数	計 組(避難所内 + 外)		
	避難所運営委員会	設置	済・未設置	役員	会長	人、副会長	人(うち女性 人)
	運営班	設置	済・未設置	会長名			
ライフライン	電 気	☐ 通電 ☐ 停電 (: 現在)			電 話	☐ 可能 ☐ 不能 (: 現在)	
	水 道	☐ 通水 ☐ 断水 (: 現在)			F A X	☐ 可能 ☐ 不能 (: 現在)	
	ガ ス	☐ 可能 ☐ 不能 (: 現在)			インターネット	☐ 可能 ☐ 不能 (: 現在)	
特記事項	※外国人避難者がいる場合はその国籍の内訳等						

※毎日午前9時に市災害対策本部へ提出すること。

物資受入簿

避難所

[illegible]

- ・物資は、品名ごとに「物資ごとの受入・配給等管理簿」を作成する。

物資ごとの受入・配給等管理簿

避難所名

[illegible]

記入例

物資の給与状況(まとめ表)

避難所

住家の被害程度 (*1)	世帯主の氏名	世帯 の 人数	給与した日 (*2)	物資給与の品名・数					
				布団	毛布				
		人	/	組	枚				
		人	/	組	枚				
		人	/	組	枚				
		人	/	組	枚				
		人	/	組	枚				
		人	/	組	枚				
		人	/	組	枚				
		人	/	組	枚				
		人	/	組	枚				
		人	/	組	枚				

災害救助法が適用された場合、請求のために必要な書類を作成するための資料として、本書に情報をまとめておくと便利です。

*1 住家の被害程度は、全壊、半壊、一部損壊、全焼、半焼、流失、床上浸水の別を記入

*2 給与した日は、その世帯に対して最後に給与した物資の給与日を記入

食料管理表

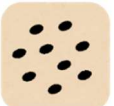
- ・におい、外観、容器のやぶれなどの異常がないか確認してから配給する
- ・食料は、受け入れ後すみやかに配給し、日持ちのしないものは保管しないようにする
- ・配給された食料はすぐに食べ、残ったら必ず廃棄するよう、避難所利用者に伝える

区分	品名	日付⇒	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
飲料水・飲み物	飲料水 500m l											
長期保存できるもの	アルファ化米											
	クラッカー											
アレルギー対応												
その他	粉ミルク											
	離乳食											

食品の原材料表示カード

食物アレルギーにより食べることのできない食材がある方のための、避難所の炊き出しなどで使用する、食品の原材料表示カードです。

提供する食品の前にこのカードを掲示してください。食品に使用している原材料に○を付けましょう。

の り し ろ							
食品名:							
この食品は、○の付いた原材料を使用しています							
 卵	 乳	 小麦	 落花生	 えび	 そば	 かに	 くるみ
 いくら	 キウイ フルーツ	 大豆	 バナナ	 やまいも	 カシュー ナッツ	 もも	 ごま
 さば	 さけ	 いか	 鶏肉	 りんご	 マカダミア ナッツ	 あわび	 オレンジ
 牛肉	 ゼラチン	 豚肉	 アーモンド	 ピスタチオ			

避難所の火災予防のための自主検査表

実施日	実施者	検査項目（ ○：問題なし ×：不備・欠陥あり ）						
		避難する 通路上に 物は置か れていな いか	ガス機器 のホース などに損 傷はない か	電気器具 の配線な どに損傷 はないか	たこ足配 線で電気 機器をし ようして いないか	火気を使 用する設 備や器具 に異常は ないか		
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								
/								

- ・ 検査は毎日.....時に行ってください。
- ・ 検査の結果が「×(不備・欠陥がある)」となった場合は、すぐに改善してください。
- ・ 改善することが難しい場合は、直ちに施設管理班の班長に報告してください。
- ・ 追加の検査項目がある場合は、空欄にご記入ください。

派遣職員依頼書

市災害対策本部 FAX() — メール	→ ←	避難所名 : FAX() — メール
--------------------------------------	--------	-------------------------------------

避難所 記載欄	依頼日時	年 月 日 () 時 分				
	担当者名					
	ふりがな 避難所名	住所 TEL FAX メール				
	依頼内容 (派遣を希望する職員等について)	派遣を希望する職種	具体的な業務内容	人数	派遣希望時期	
		行政職員		名		
		ボランティア		名		
				名		
			名			
		名				
市災害対策本部 記載欄	受信日時	年 月 日 () 時 分				
	担当者名					
	回答 (派遣可能な職員等について)	派遣可能な職員等	具体的な業務内容	人数	派遣する日	
		行政職員		名		
		ボランティア		名		
				名		
				名		
		名				

- ・ 避難所では、「避難所記入欄」に記入し原則メール・FAX で市災害対策本部に送付する。
- ・ 市災害対策本部は「市災害対策本部記入欄」に記入し原則メール・FAX で避難所に回答する。
- ・ メール・FAX が使えない場合は伝票の控えを残し、伝令などの手段で確実に相手に手渡しする。

ボランティア受付票

ボランティア受付票					避難所名	
No.	受付日	氏名・住所・電話	性別	職業	過去のボランティアの経験	
					有無	活動内容
	/	氏名 住所 電話			有 ・ 無	
	/	氏名 住所 電話			有 ・ 無	
	/	氏名 住所 電話			有 ・ 無	
	/	氏名 住所 電話			有 ・ 無	
	/	氏名 住所 電話			有 ・ 無	
	/	氏名 住所 電話			有 ・ 無	
	/	氏名 住所 電話			有 ・ 無	
	/	氏名 住所 電話			有 ・ 無	
	/	氏名 住所 電話			有 ・ 無	
	/	氏名 住所 電話			有 ・ 無	

ボランティアの皆様へ（ボランティア活動時の注意事項）

このたびは、ボランティア活動にご参加いただきありがとうございます。

皆様に、安全で気持ち良く活動していただくため、以下をよくご確認くださいをお願いします。

1 市災害ボランティアセンターでボランティア登録はお済みですか？

また、ボランティア保険（※）への加入はお済みですか？

ボランティア活動時には、必ず保険への加入をお願いします。未加入の方は、市災害ボランティアセンターへお問い合わせください。

※全国社会福祉協議会の福祉ボランティア保険（災害時特約付き）など

2 活動の際は、ボランティア証など身分のわかる物を身に付けて下さい。

3 グループで活動する場合は、はじめにリーダーを選出してください。

リーダーとなった方は、仕事の進捗状況や完了時の報告をお願いします。

4 体調管理には十分ご注意ください。

体調の変化や健康管理などは、皆さん各自でご注意ください、決して無理をしないようにしてください。

5 被災された方の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーを守った行動や発言・言葉使いなどに心がけてください。

6 食事や宿泊場所は提供できません。

7 活動時の服装や持参品など（災害の種類や季節などにより適宜変更してください）

- （1） 動きやすい服装、帽子、ジャンパー、底の厚い靴、皮手袋、防塵マスク等
- （2） 懐中電灯、雨具（カッパ）、携帯ラジオ
- （3） 飲料水、弁当、ゴミ持ち帰り用袋
- （4） タオル、救急用品（傷薬、痛み止め、ガーゼ、救急ばんそうこう等）、筆記用具、保険証のコピー、ティッシュ、小銭、地図、メモ帳

8 その他疑問点などがあれば、市災害ボランティアセンターなどに ご相談ください。

ボランティアの皆様には危険な活動をお願いすることはありませんが、万一、活動内容に疑問を感じることがありましたら、作業を始める前に、市災害ボランティアセンターなどにご相談ください。

市災害ボランティアセンター	電話（ ）	－
---------------	------------------	---

避難所名 _____

愛知県災害多言語支援センター

被災地→愛知県災害多言語支援センター

【様式5】

送付先：愛知県災害多言語支援センター（メール:saigaitagengo@pref.aichi.lg.jp FAX:052-971-8736）

翻訳依頼書

依頼日： 月 日 ()

■依頼者情報

団体名

担当所属

担当者氏名

電話番号

メール

FAX

1. 翻訳依頼内容

☐ 別添の原稿のとおり。⇒原稿を添付してください。☐ 下記の内容のとおり。⇒下記に記入してください。

2. 使用時期（※翻訳の締切等があれば記入してください。）

3. 翻訳希望言語

☐ ①英語 ☐ ②中国語 ☐ ③ポルトガル語 ☐ ④スペイン語 ☐ ⑤ベトナム語 ☐ ⑥フィリピン語☐ ⑦韓国語 ☐ ⑧その他（以下に御記入ください。）

（その他）

4. その他連絡事項

<センター記入欄>

受付担当者：

・受付日 月 日 ()

・処理担当 総務班 ・ 情報班 ・ 広域連携班

・翻訳依頼 済 ・ 未済 （状況等：)

・翻訳済原稿 受領 ・ 未受領 （状況等：)

・依頼元への回答 済 ・ 未済 （状況等：)

・処理完了日 月 日 ()

愛知県災害多言語支援センター

被災地→愛知県災害多言語支援センター

【様式6】

送付先：愛知県災害多言語支援センター（メール：saigaitagengo@pref.aichi.lg.jp FAX:052-971-8736）

通訳支援依頼書

依頼日： 月 日（ ）

■依頼者情報

団体名

担当所属

担当者氏名

電話番号

メール

FAX

1. 通訳方法・場所（対面または派遣、施設名・住所）

--

2. 時期・期間

--

3. 業務内容

--

4. 通訳実施場所の環境

・宿泊場所 ☐ 有 ☐ 無・交通手段 ☐ 公共交通機関 ☐ 車のみ↳ 最寄りからのアクセス：

・その他（必要な物など）

--

5. 言語

☐ ①英語 ☐ ②中国語 ☐ ③ポルトガル語 ☐ ④スペイン語 ☐ ⑤ベトナム語 ☐ ⑥フィリピン語☐ ⑦韓国語 ☐ ⑧その他（以下に御記入ください。）

（その他）

--

6. その他連絡事項

--

<センター記入欄>

受付担当者：

・受付日 月 日（ ）

・処理担当 総務班 ・ 情報班 ・ 広域連携班

・通訳依頼 済 ・ 未済 （状況等： ）

・依頼元への回答 済 ・ 未済 （状況等： ）

・処理完了日 月 日（ ）

避難所備蓄物資一覧表

分類	備蓄品名/保管先名	基準数量	単位
非常食	離乳食（しらすの雑炊 80g）	36	食
	粉ミルク（スティック） 13g	100	本
	保存水 500ml	288	本
	クラッカー 35食×2缶	350	食
	アルファ米	300	食
衛生紙用品	生理用ナプキン 昼用	240	枚
	生理用ナプキン 夜用	75	枚
	トイレットペーパー（4ロール×24包）	96	包
	ティッシュペーパー（1箱）	30	箱
	ウェットティッシュ	300	枚
	おむつ（子供用） グreenプラス ビッグ	38	枚
	おむつ（子供用） グreenプラス M	112	枚
	おむつ（子供用） グreenプラス L	96	枚
	おむつ（大人用） 尿取りパッド はくタイプ用	60	枚
	おむつ（大人用） はくパンツ M	32	枚
	災害多人数用救急箱（50人用）	1	箱
	歯ブラシセット（歯磨き粉付き）	100	本
	救急滅菌交換キット（50人用）	1	個
	アルミブランケット（救急シート）	30	袋
	ポリバケツ（蓋付） 90L	3	箱
	ゴミ箱（1）	3	箱
災害用トイレ倉庫 （富士中/センター系 以外）	雑巾	—	枚
	防犯ブザー	—	個
	身障用テント	—	基
	災害用マンホール蓋開閉用バール 36型	—	個
	災害用トイレ便座（＝マンホールトイレ基数）	—	基
	消火栓ハンドル（MHキーハンドル 1,050mm）	—	個
	水中ポンプ	—	台
	水のう	—	個
	手指消毒液（マンホールトイレ用）	—	個
	延長用吐出ホース（電動ポンプ用）	—	本
	延長用吐出ホース（手押しポンプ用）	—	本
	可搬式電源ポンプ	—	台
	可搬式手押しポンプ	—	台
	一般用テント	—	基
	ランタン	—	個
	ホース 20m	—	本
	ホース 10m	—	本
	ビニール袋	—	枚
	ビニール手袋	—	枚
	バケツ	—	個
	トイレブラシ	—	個

災害用トイレ倉庫 (富士中/センター系 以外)	トイレットペーパー (4ロール×3包)	—	包
	トイレクリーナー	—	本
	ゴミ箱	—	箱
消火・救出用資機材	軍手	12	双
	消火器 (ABC粉末10型)	3	本
	油圧式ジャッキ 2t用	2	台
	拡声器	2	台
	投光器	1	台
	土のう袋	100	枚
	台車 (ユニエース)	1	台
	剣先スコップ	2	本
	二つ折りワンタッチ担架	2	台
	メガホン	5	個
	ホイッスル	5	個
	ブルーシート 3.6m×5.4m or 5.4m×7.2m	50	枚
	ノコギリ	3	本
	トラロープ 12mm×200m	1	個
	ストロングライト	2	台
	ゴム長靴 (釘踏抜き防止品)	3	足
	コードリール	2	台
	クリップ (中型)	1	本
	カナテコバール	2	本
日用品等	養生テープ	8	個
	非常用飲料水用袋 6L	200	枚
	襖材更衣室 (やわらぎスクエア)	1	台
	組立トイレ (ドントコイ) 身障者用	1	基
	組立トイレ (ドントコイ・コンパクト)	1	基
	紙コップ	320	個
	簡易トイレ (ニードワンタッチトイレ)	4	台
	皿付き二重コンロ (ホース付き)	—	個
	洗面器	5	個
	水道水塩素チェッカー	1	個
	水ヒシャク	2	本
	毛布	100	枚
	携帯トイレ (凝固・衛生袋セット)	600	枚
	折りたたみ式給水容器 10L	10	個
	安全キャンドル (セーフティーキャンドル)	3	個
	哺乳瓶使いきりタイプ 250ml	100	本
	卓上カセットガスコンロ	5	台
	割り箸	200	膳
	ワンタッチパーティションNo.7740	1	台
	ワンタッチパーティションWT-120	2	台
	ランタンライト	2	個
	ラジオ付きライト (懐中電灯)	3	個
	ポータブル電源 (EcoFlow RIVER 2 Pro)	1	台
	ポリバケツ 12L	10	個
	トイレ用テント (ニードワンタッチテントWT-1)	4~6	基
	タオル	100	枚
	サランラップ	3	本
	カーペット 1800×900	40	枚
	カセットガス発電機 ホンダ エネポ	2	台

日用品等	カセットガスボンベ（3本パック×16）	144	本
	エコロジー食器セット	200	セット
	エアーマット暖	60	枚
	やかん 8L	2	個
	ごみ袋（黒） 70L	10	枚
	かまどセット 5升	1	基
	LEDランタンライト	1	個
	トラック用シート（ターポリン）	—	枚
感染症対策用備品	非接触型体温計	2	個
	防護メガネ	10	個
	脇下式体温計	2	個
	簡易ベッド	—	台
	段ボール間仕切り（旧型） 1セット1束⇒1畳（高さ：新型の1/2）	—	台
	段ボール間仕切り（新型） 1セット1束⇒4㎡	—	台
	段ボールベッド	—	台
	次亜塩素酸消毒液用ボトル	4	本
	次亜塩素酸消毒液 5L	1	袋
	手指消毒液 1L	5	本
	感染予防着	10	枚
	使い捨て筆記具	200	本
	使い捨てゴム手袋	200	枚
	不織布マスク	200	枚
	ペーパータオル	400	枚
	フェイスシールド	8	枚
	ティッシュ（1箱）	1	箱
	ゴミ袋	100	枚
	クリップボード	10	個
初動職員用資材	電池スเปーサー（単3→単2）	20	個
	鉛筆（赤・黒）	1	本
	避難所開設看板	1	個
	避難所鍵	1~	個
	避難所運営マニュアル	1	セット
	避難所位置図	1	セット
	避難所レイアウト図	1	セット
	空調設備ガス切り替えマニュアル	1	セット
	様式集一式（クリアケース入り）	1	セット
	ラミネート集一式	1	セット
	腕章（黄色 避難所運営）	30	枚
	罫紙	1	冊
	結束バンド（1）	25	本
	特設公衆電話機	0~3	台
	災害時障害者支援用バンダナ	20	枚
	液晶テレビ	1	台
	水電池	200	個
	手巻きラジオ	1	台
	懐中電灯	1	個
	応急危険度判定資材	1~2	セット
	強力マグネットフック	2	個
	工具セット	1	セット
	初動職員用資材ボックス内配備品一覧	1	枚
	乾電池（単3）	20	個

初動職員用資材	乾電池（単2）	8	個
	乾電池（単1）	10	個
	レインパーカー	3	着
	マジック（赤・黒）	1	本
	ボールペン（赤・黒）	1	本
	ヘルメット	2	個
	ヘッドライト	5	個
	セロテープ	1	個
	コミュニケーション支援ボード	1	セット
	カッター	1	個
	USBポート付きタップ	1	個
	PPロープ 100m	2	巻
	LED防水ライト（懐中電灯）	1	個
	LEDセンサーライト	1	台
※「－」は避難所によって数量が異なるものとする。 ※総合文化センターは”帰宅困難者用”のため、異なる備蓄品を配備するものとする。			

受付時健康状態チェックリスト

避難所受付時に発熱、咳、倦怠感等がある人が記入する。

なまえ		ねんれい	さい	たいおん	ど
名前		年齢	歳	体温	℃
質 問				はい	いいえ
1	感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、感染性胃腸炎など）に感染していますか？			☐	☐
2	37.5度以上の熱がありますか？			☐	☐
3	全身に倦怠感（だるさ）がありますか？			☐	☐
4	息苦しさはありますか？			☐	☐
5	ひどい咳がありますか？			☐	☐
6	1日に何回も下痢をしていますか？			☐	☐
7	嘔吐や吐き気がありますか？			☐	☐
8	においや味を感じにくいですか？			☐	☐
9	介護や介助が必要ですか？			☐	☐
10	妊娠中ですか？			☐	☐
11	小さな（乳幼児）お子さんがいますか？			☐	☐
12	気になること、ご心配なことがありますか？			☐	☐
13	避難所の生活で配慮が必要なことを書いてください。				

健康状態チェックシート

避難所名		氏 名						年 齢	
								歳	
日付	体温測定	息苦しさ	におい・味	せき・たん	だるさ	吐き気	下痢	その他	チェック欄
		★ひとつでも該当すれば「はい」に○ ・息が荒くなった ・呼吸数が多くなった ・急に息苦しくなった ・少し動くとき息があがる ・胸の痛みがある ・横になれない ・座らないと息ができない ・肩で息をしたり、ゼーゼーしたりする。	においや味を感じない	せきやたんがひどい	全身のだるさがある	吐き気がある	下痢がある	★その他の症状がある ・食欲がない ・鼻水・鼻づまり・のどの痛み ・頭痛・関節痛や筋肉痛 ・一日中気分がすぐれない ・体にぶつぶつ（発疹）が出ている ・目が赤く。目やにが多い など	
／ (月)	朝 °C	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい・いいえ (症状)	
	昼 °C								
	夜 °C								
／ (火)	朝 °C	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい・いいえ (症状)	
	昼 °C								
	夜 °C								
／ (水)	朝 °C	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい・いいえ (症状)	
	昼 °C								
	夜 °C								
／ (木)	朝 °C	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい・いいえ (症状)	
	昼 °C								
	夜 °C								
／ (金)	朝 °C	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい・いいえ (症状)	
	昼 °C								
	夜 °C								
／ (土)	朝 °C	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい・いいえ (症状)	
	昼 °C								
	夜 °C								
／ (日)	朝 °C	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい ・ いいえ	はい・いいえ (症状)	

送信先:市災害対策本部 避難所班	一次避難所での生活	移送の希望	手配希望
防災行政無線 120・FAX141 電子メール fukusou@city.kariya.lg.jp FAX 0566-24-3481	可・不可	有・無	車椅子・移送車

記入日 年 月 日

アセスメントシート

避難所名		無線 番号	
ふりがな 本人氏名	男・女	大・昭 平・令	年 月 日生 () 歳
本人住所		電話	()
		Fax	()
介添人	ふりがな 氏名	続柄	
		電話	()
要介護等 認定	☐ なし ☐ あり (認定区分)		
障害等認定	療育手帳	☐ なし ☐ あり (A + ・ A ・ B ・ C)	
	精神障害者 保健福祉手帳	☐ なし ☐ あり (級) (障害区分)	
	身体障害者手 帳	☐ なし ☐ あり (級) (障害区分)	
	医療的ケア	☐ なし ☐ あり ()	
サービス利用 状況	通所施設		
疾病の状 況	現在の疾病		
身体の状 況	服薬	☐ なし ☐ あり (お薬手帳 ☐ なし ☐ あり)	
	視力	☐ 普通 ☐ 見えにくい ☐ 見えない	
	聴力	☐ 普通 ☐ 聞こえにくい ☐ 聞こえない	
日常生活 動作能力	言語	☐ 普通 ☐ 聞き取りにくい ☐ 聞き取れない	
	歩行	☐ 自立 ☐ 杖使用 ☐ つかまり歩き ☐ 不可能	
	行動範囲	☐ 制限なし ☐ 家の周り ☐ 屋内のみ ☐ 床の上	
	床上動作	☐ 正座 ☐ どうにか座れる ☐ 座位介助	
	食事	☐ 箸で自由に ☐ スプーン使用 ☐ 手づかみ ☐ 食事介助	
	排泄	☐ 自立 ☐ トイレまで介助 ☐ 排泄介助	
	入浴	☐ 自立 ☐ 浴場まで介助 ☐ 入浴介助	
問題行動 行動障害	着脱衣	☐ 自立 ☐ 手を貸せば可能 ☐ 着脱衣介助	
	☐ 自傷 ☐ 他害 ☐ 徘徊 ☐ 不穏興奮 ☐ 不潔行為 ☐ 失禁 ☐ 暴言暴力 ☐ 支援の拒否 ☐ 異食行動		
その他	(肢体不自由の場合は、部位、程度、補装具等を、摂食アレルギーの場合は、対象物資等 をご記入ください。)		

【施設記入】	施設名:	受入可 受入不可
【福祉班記入】 判断	() 避難所での生活ができる。ただし、配慮が必要	
	() 福祉避難所への移送が必要 移送先 ()	月 日 : 受入
	() その他 ()	

送信先:市災害対策本部 避難所 班	一次避難所での生活	移送の希望	手配希望
防災行政無線 120・FAX141 電子メール fukusou@ FAX 056	☒ 可 ☐ 不可	☒ 有 ☐ 無	車椅子・移送車
一次避難所での生活が可能の方は、シートの記入不可		本人等で手配できない場合に記入	
アセスメントシート		記入日	年 月 日
ふりがな 本人氏名	かりや たろう 刈谷 太郎	☒ 男 ☐ 女	無線 番号
本人住所	刈谷市東陽町1-1	大・昭 平・令	10年 3月 1日生 (25) 歳
介添人	ふりがな 氏名	かりや じろう 刈谷 二郎	電話 0566 (23) 1111 Fax 0566 (23) 1111 続柄 父 電話 0566 (23) 1111
要介護等 認定	☒ なし ☐ あり (認定区分)		
障害等認定	療育手帳	☐ なし ☒ あり (A+・A・B・C)	
	精神障害者 保健福祉手帳	☒ なし ☐ あり (級) (障害区分)	
	身体障害者 手帳	☐ なし ☒ あり (1級) (障害区分 6)	
	医療的ケア	☒ なし ☐ あり ()	
サービス利用 状況	通所施設	風鈴	
疾病の状況	現在の疾病	脳性まひ	
身体状況	服薬	☐ なし ☒ あり (お薬手帳 ☐ なし ☒ あり)	
	視力	☒ 普通 ☐ 見えにくい ☐ 見えない	
	聴力	☒ 普通 ☐ 聞こえにくい ☐ 聞こえない	
日常生活 動作能力	言語	☐ 普通 ☐ 聞き取りにくい ☒ 聞き取れない	
	歩行	☐ 自立 ☐ 杖使用 ☐ つかまり歩き ☒ 不可能	
	行動範囲	☐ 制限なし ☐ 家の周り ☒ 屋内のみ ☐ 床の上	
	床上動作	☐ 正座 ☐ どうか座れる ☒ 座位介助	
	食事	☐ 箸で自由に ☒ スプーン使用 ☐ 手づかみ ☐ 食事介助	
	排泄	☐ 自立 ☒ トイレまで介助 ☐ 排泄介助	
	入浴	☐ 自立 ☐ 浴場まで介助 ☒ 入浴介助	
問題行動 行動障害	着脱衣	☐ 自立 ☒ 手を貸せば可能 ☐ 着脱衣介助	
	☒ 自傷 ☐ 他害 ☐ 徘徊 ☐ 不穏興奮 ☐ 不潔行為 ☐ 失禁 ☐ 暴言暴力 ☐ 支援の拒否 ☐ 異食行動		
その他	(肢体不自由の場合は、部位、程度、補装具等を、摂食アレルギーの場合は、対象物資等 をご記入ください。) 下肢障害、車椅子利用、卵アレルギー有		

【施設記入】	施設名:	受入可	受入不可
【福祉班記入】 判断	記入しない		
	)		
	: 受入		
	() の他 ()		